

## 医療公開講座のお知らせ

当院では毎月『医療公開講座』を開催しています。  
**病気、お薬、食事、運動、医療費など、**  
 様々な内容で少しでも皆さまのお役に  
 立ちたいという思いから情報発信しています。

参加の申し込みは、  
 総合受付または地域医療連携室へ  
 お声掛けいただくか、  
 こちらの番号へお問い合わせください。

春日部中央総合病院  
 地域医療連携室  
**TEL.048-736-1303**  
 (直通電話)



今後も下記の日程・内容で講座を行いますので、  
 皆さまふるってご参加ください。

日付	内容	講師
平成28年7月26日(火) 14:00~16:00	心雑音と言われたら…。 ～心疾患(心臓弁膜症)について～	心臓血管外科 佐藤 健一郎 医師
平成28年7月28日(木) 15:00~16:00	ヘリコバクター・ピロリ菌感染症について	外科 矢島 浩 医師

7月26日の医療公開講座は、春日部駅近郊にある「ふれあいキューブ」で開催予定です。  
 会場は150名入ることができ、当日は看護師などによる健康相談コーナーも同時開催予定です。

## IMSグループからのお知らせ

### 医療・介護のことでお悩みはありませんか？

IMSグループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。  
 詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ[メールフォーム]よりお問い合わせください。

**FREE 0800-800-1632** ※[050]からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。  
**03-3989-1141** (代表) 受付時間/平日8:30~17:30 土曜日8:30~12:30 (日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をご覧ください。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F

### 編集後記

暑い日が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。夏はお祭りや花火大会があり、楽しみです。しかし、大雨や台風による災害も起こりやすい時期です。備えるところは備えつつ、良い夏をお過ごしください。

地域医療連携室

IMSグループ 医療法人財団 明理会

## 春日部中央総合病院

〒344-0063 埼玉県春日部市緑町5丁目9番4号  
 TEL.048-736-1221 FAX.048-738-1559  
<http://www.kasukabechuo.com>

認定施設 厚生労働省臨床研修指定病院/日本医療機能評価機構認定病院/日本内科学会認定医制度教育関連施設/日本循環器学会認定循環器専門医研修施設/日本心臓血管インターベンション治療学会研修施設/日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設/腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設/胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設/日本外科学会外科専門医制度修練施設/日本消化器外科学会専門医制度修練施設/日本整形外科学会専門医研修施設/日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設/日本泌尿器科学会認定専門医教育施設/日本透析医学会専門医制度教育関連施設/日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設/日本麻酔科学会麻酔科認定病院/看護大学・専門学校実習病院

### 病院理念

愛し愛される病院

### 基本方針

- 求められる医療の実践  
24時間、より早く安心安全な診療
- 地域連携推進  
地域に密着した医療の提供
- 医療人としての質の向上  
医療人の自覚と技術向上への教育



「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



## 医師ごあいさつ



4月から心臓血管外科に赴任しました佐藤健一郎と申します。  
 今まで成人の冠動脈疾患、弁膜症、大動脈瘤などの心臓血管手術に従事してきました。心臓血管手術では緊急性を要する疾患が多いことが特徴です。特に最近メディアで取り上げられる事多い急性大動脈解離は、急いで治療を行わないと命に関わります。このような疾患の治療を行い、少しでも多くの命を助ける事が出来ればと思います。よろしくお祈りいたします。

心臓血管外科 佐藤 健一郎



平成28年4月より春日部中央総合病院心臓血管外科に入職しました白杉岳洋と申します。下肢静脈瘤レーザー治療から腹部大動脈などの大血管手術や血管内治療、心臓手術まで幅広く、患者様のお力になれるように日々努力してまいります。宜しくお願いいたします。

心臓血管外科 白杉 岳洋



平成28年4月に入職いたしました。私ですが1966年東京生まれ、2歳から18歳まで春日部育ちです。1984年旭川医科大学に入学、1994年に旭川医科大学大学院(生化学)を卒業しその後皮膚科を専攻しています。2012年9月から県内の皮膚科で働いておりましたが、実家のある春日部で働かせていただけることになりました。どうかみなさまとぞよろしくお祈りいたします。

皮膚科 中村 哲史



4月から整形外科に入職いたしました倉光と申します。東京出身で、富山大学卒です。専門領域はまだ決まっておきませんが、外傷を中心に診療させていただいています。他にも腰痛や膝、肩の痛みなど患者様が困っている症状があれば何でも対応させていただきます。出来るだけ患者様が話しやすい外来を心がけております。少しでも気になったら何でも教えてください。若輩者ですが一生懸命頑張りますので、よろしくお祈りいたします。

整形外科 倉光 祐二郎

# MRI機器・撮影室などの リニューアル

当院では2016年1～2月の約2ヶ月をかけ、新しいMRI機器の設置・撮影室・待合室等々をリニューアルしました。

この度、ドイツ・シーメンス社の「Aera 1.5T」を導入しました。

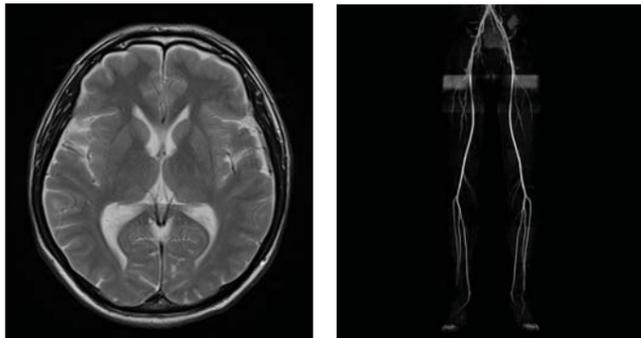
従来の機材では撮影が難しかった、心臓・血管系の検査をはじめ、従来からの撮影部位に関しても、高画質でかつ短時間での撮影が可能になりました。

また、撮影用の部品も充実、あらゆる部位の検査を無理な姿勢が少なく実施できるようになりました。

複数の部品の組み合わせによる広範囲の撮影も可能になり下肢全体の血管撮影や脊椎全体を一つの画像として撮影することが可能です。

さらに「Aera 1.5T」は本体のトンネルのサイズが通常の直径60cmに対し70cmという広い物を採用、撮影空間の拡大に貢献。さらに、機材のサイズの小型化に

より本体の奥行きをの少なさを實現、撮影時の圧迫感を軽減し、今まで撮影が困難であった、大柄な方や閉所が苦手な方でも検査実施できることが期待されます。



※MRI画像はすべて当院スタッフによる、健康者ボランティア画像。

## 熱中症危険度チェック

あなたは普段から熱中症になるような行動をしていませんか？熱中症は重傷になると、命の危険につながる重大な病気です。「自分は大丈夫」と思わずに、まずは下の熱中症チェックシートで、日々の行動に問題がないかを確認しましょう！

- この2、3日の間に風邪をひきましたか？
- この2、3日の間に熱を出しましたか？
- この2、3日の間に下痢をしましたか？
- その他に体調で気になることはありますか？
- 今までに熱中症になったことはありますか？
- 今までに運動中に体調が悪くなったことはありますか？
- 普段、よく汗をかく遊びやスポーツをしていますか？
- 最近、寝不足ではありませんか？

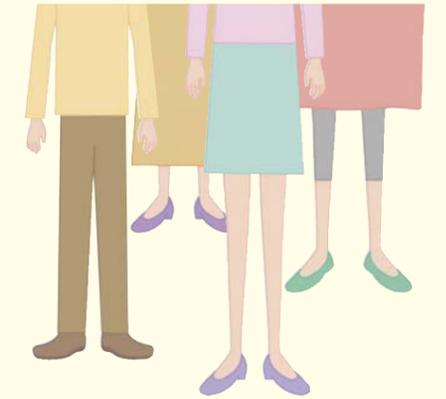


このチェックシートで4個以上あてはまる方は、より熱中症に注意して生活するようにしてください。サインを見逃さず、早い段階で対処することが大切です。

※このチェックシートはあくまでも参考程度にご使用ください。実際の危険度は、現場の条件や個人差によって異なります。

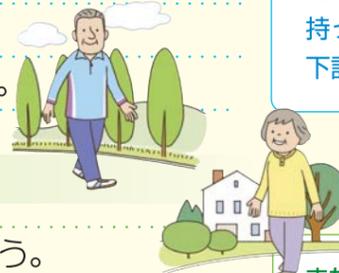
# 「フットケア」をご存知ですか？

足は歩くために必要不可欠であり、人の体の中で唯一地面と接している大切なパーツです。生活習慣病である糖尿病や動脈硬化などの病気により足の血流低下、感覚障害、足の変形などが生じてきます。それらが原因で足にマメやウオノメができ、放っておくと潰瘍という傷ができてしまいます。そのような足の傷を治療し、またできないように予防するものが「フットケア」です。足はからだの一番末端にあるため、なかなか気にせず、足の裏を最近見たことがないという方も多いのではないのでしょうか。足に傷ができてしまうと、痛くて歩けないだけでなく、そこから感染を起こすと最悪の場合足が壊疽してしまい、切断に至るケースもあります。そうならないためにも、自分でできるフットケアを以下にまとめたので参考にしてください。



## 《フットケアのために自分でできること》

1. 毎日、足をよく観察しましょう。
2. 毎日、足を洗い清潔に保ちましょう。
3. こたつや電気カーペットはやけどの原因となるのでほかの暖房器具を用いましょう。
4. 家の中でも靴下を履き、裸足で歩かないようにしましょう。
5. タコやウオノメは病院で処置をし、自分で切らないようにしましょう。
6. 爪は少しずつ一直線に切って、後はヤスリで。爪の変形に気をつけましょう。
7. 視力障害があれば、爪切りは家族に任せましょう。
8. 足に合った靴を履きましょう。
9. 足に傷ができたらずきに受診しましょう。



そもそもなぜ足に傷ができてしまうのか？足を守るために毎日のように履くものが靴です。その靴が自分の足に合っていないければ、足を守るどころか変形の原因になり、タコやウオノメ、傷をつくる原因になってしまうこともあります。足を守るうえで靴選びはとても重要な役割を持っているのです。靴を選ぶ際は下記の点に気をつけてください。

## 《靴選びの注意点》

1. 靴を買うときに足のサイズを測ってもらう。
2. 必ず試し履きをする。履いたら立って少し歩いてみる。
3. マジックテープまたはひも靴を選ぶ。サンダルはやめましょう。
4. 足に合った靴を履くために、サイズは足の長さだけでなく、幅も見ましょう。
5. つま先の高さにゆとりがあるか確認する。
6. しっかりした靴底の靴を選ぶ。靴を手に取り、足の指の付け根で曲がるか確認する。
7. かかと部分が固い靴を選ぶ。かかとはつぶれないように履きましょう。
8. 足や足の指が変形している人は主治医に相談。市販の靴では合わない場合があります。

また、かかとをつぶして履いている、靴紐をしめず、ぶかぶかのまま履いている、こんな人はいませんか？自分の足に合った靴を買ったとしても、それをしっかりと履かなければ意味がありません。しっかりとかかとを入れ、面倒かもしれませんが毎回靴紐をしっかりと締めましょう。そうすることで、足が靴に固定されるようになり、傷の原因となる靴擦れが起りにくく、グラグラせずに安定して歩くことができます。自分の足は自分で守って、健康な毎日を送るようにしましょう。